



平成27年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年6月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ

コード番号 3174

URL <http://www.happiness-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田 泰夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 追川 正義

(TEL) 03-3562-7521

四半期報告書提出予定日 平成27年7月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第3四半期の業績（平成26年9月1日～平成27年5月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第3四半期	13,053	△3.3	234	△47.1	206	△50.7	92	△55.6
26年8月期第3四半期	13,511	6.4	444	△18.9	419	△18.7	208	△23.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第3四半期	36.59	35.85
26年8月期第3四半期	82.49	81.47

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第3四半期	10,319	2,239	21.3
26年8月期	8,779	2,174	24.4

(参考) 自己資本 27年8月期第3四半期 2,206百万円 26年8月期 2,149百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年8月期	—	0.00	—		
27年8月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年8月期の業績予想（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△1.1	243	△45.4	205	△50.0	92	△53.7	36.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年8月期3Q	2,532,400株	26年8月期	2,530,000株
② 期末自己株式数	27年8月期3Q	－株	26年8月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年8月期3Q	2,531,600株	26年8月期3Q	2,530,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績の改善による緩やかな回復基調が続いております。

一方、個人消費につきましては、実質所得の低下等により節約志向が強まったことで、消費マインドの低迷が続いており、力強い回復を実感するには至っておりません。

このような状況の中で、当社は、粗利率の向上、客数の増加及び採用難解消のための諸制度導入を当事業年度の重点課題として、以下のような施策に取り組んでまいりました。

商品施策といたしましては、客数増加の施策として、値ごろ感のある価格帯の商品や販売の好調なブランドの強化を図りました。また、オリジナルブランド商品（ハッピーキャンドル）については、春夏新作商品の導入を図るとともに、引き続き雑誌掲載を中心とした広告宣伝によりブランドの確立に努めました。

販売活動の施策といたしましては、新規店舗のオープンセールや宝飾催事に引き続き取り組み、新規顧客の開拓と固定客作りに努めました。一方、顧客サービスの向上とマーケティング強化へ向けて、12月より導入した「ハピネスメンバーズカード」は、当第3四半期末で獲得会員数約38,000件となり、順調に増加しております。また、店舗スタッフの接客力向上に向けた社内研修は引き続き取り組みを強化し、販売力の向上に努めました。

採用活動の施策といたしましては、子育て支援制度・特別休暇制度等の応募動機につながる人事諸制度を導入し、採用活動の訴求力を高めるとともに、新規の募集ルート開拓、求人資材の制作や配布など積極的な採用施策を展開してまいりました。

店舗展開といたしましては、10月に福岡店、京都桂川店、木更津店、和泉店、11月に桶川店、3月に大曲店、4月に茨木店、沖縄ライカム店の計8店舗を新規出店いたしました。沖縄県へは当社として初の出店となります。これらにより、当第3四半期累計期間末の店舗数は67店舗となっております。

改装につきましては、岡崎店、富津店、つくば店、水戸店、高岡店、越谷店、草津店、成田店、春日部店について実施し、売り場鮮度の維持向上を図りました。また、自社運営のECサイト（Happiness オンラインショップ）を3月より開設いたしました。

商品部門別の売上の状況につきましては、宝飾品は催事等による取り組みに一定の成果がみられたものの力強い回復には至らず売上高2,171,002千円（前第3四半期累計期間比5.1%減）、時計は新店・改装店での時計コーナーの展開強化を実施したこともあり高額ブランド時計が好調に推移し売上高3,502,104千円（同4.1%増）、バッグ・小物は一部のファッションブランド商品や値ごろ感のあるオリジナルブランド商品が好調だったものの、主力ブランド商品に値上がりの影響がみられたことで売上高7,380,720千円（同6.1%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は13,053,827千円（前第3四半期累計期間比3.3%減）、営業利益は、新規8店舗の出店と大型改装に伴う販売費及び一般管理費の増加等により234,692千円（同47.1%減）となりました。経常利益は、206,521千円（同50.7%減）、四半期純利益は、店舗の移転や改装等に伴う固定資産廃棄損19,476千円により92,638千円（同55.6%減）となりました。

なお、当社の業績は、クリスマス時期を中心とした年末年始商戦のウエイトが高くなっているため、四半期決算としては第2四半期会計期間の占める比重が高くなっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、8,327,816千円となり、前事業年度末と比較して1,343,118千円増加しております。これは主として、新規出店に向けた資金調達や商品確保により現金及び預金が370,095千円、商品が1,014,770千円増加したことが要因であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,991,325千円となり、前事業年度末と比較して196,381千円増加しております。これは主として、新規出店のため、建物が109,752千円、工具、器具及び備品が52,499千円、敷金及び保証金が29,222千円増加したことが要因であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、3,978,140千円となり、前事業年度末と比較して746,263千円増加しております。これは主として、新規出店に向けた資金調達や商品確保により1年内返済予定の長期借入金が259,086千円、仕入債務（支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計）が536,526千円増加したことが要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、4,101,455千円となり、前事業年度末と比較して728,531千円増加しております。これは主として、新規出店に向けた資金調達により長期借入金が578,479千円、割賦による設備投資によりその他が162,901千円増加したことが要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、2,239,545千円となり、前事業年度末と比較して64,705千円増加しております。これは主として、四半期純利益の計上により利益剰余金が54,688千円増加したことが要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月期の通期の業績予想につきましては、平成26年10月14日付の「平成26年8月期決算短信」で公表いたしました数値を修正しております。

詳細につきましては本日（平成27年6月29日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,310,927	2,681,022
売掛金	1,132,052	1,028,815
商品	3,331,486	4,346,257
貯蔵品	92,243	109,441
その他	117,988	162,279
流動資産合計	6,984,697	8,327,816
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	572,149	681,901
構築物(純額)	35	29
工具、器具及び備品(純額)	297,104	349,604
リース資産(純額)	29,733	23,177
建設仮勘定	3,098	356
有形固定資産合計	902,121	1,055,069
無形固定資産		
リース資産	16,224	10,312
その他	11,690	19,718
無形固定資産合計	27,914	30,031
投資その他の資産		
敷金及び保証金	505,118	534,341
関係会社株式	88,159	88,159
その他	292,356	303,999
貸倒引当金	△2,036	△1,586
投資損失引当金	△18,690	△18,690
投資その他の資産合計	864,907	906,223
固定資産合計	1,794,943	1,991,325
資産合計	8,779,641	10,319,141

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,216,421	1,015,842
電子記録債務	-	737,105
1年内返済予定の長期借入金	1,431,204	1,690,290
1年内償還予定の社債	70,000	20,000
未払法人税等	79,374	10,041
賞与引当金	65,248	95,009
その他	369,629	409,851
流動負債合計	3,231,877	3,978,140
固定負債		
社債	30,000	10,000
長期借入金	2,952,585	3,531,064
資産除去債務	76,875	84,026
その他	313,463	476,365
固定負債合計	3,372,924	4,101,455
負債合計	6,604,801	8,079,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	324,530	325,397
資本剰余金	311,880	312,747
利益剰余金	1,510,944	1,565,632
株主資本合計	2,147,354	2,203,777
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,564	2,948
評価・換算差額等合計	2,564	2,948
新株予約権	24,920	32,819
純資産合計	2,174,839	2,239,545
負債純資産合計	8,779,641	10,319,141

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
売上高	13,511,597	13,053,827
売上原価	10,222,781	9,846,346
売上総利益	3,288,816	3,207,481
販売費及び一般管理費	2,844,391	2,972,789
営業利益	444,425	234,692
営業外収益		
受取利息	1,203	1,246
受取配当金	398	448
受取手数料	509	559
業務受託料	2,530	994
受取保険金	2,497	1,108
その他	1,749	1,948
営業外収益合計	8,889	6,306
営業外費用		
支払利息	30,971	32,285
その他	3,031	2,192
営業外費用合計	34,002	34,478
経常利益	419,311	206,521
特別利益		
固定資産売却益	42	-
特別利益合計	42	-
特別損失		
固定資産廃棄損	3,852	19,476
減損損失	7,530	-
事業譲渡損	2,740	-
特別損失合計	14,123	19,476
税引前四半期純利益	405,230	187,044
法人税、住民税及び事業税	209,281	98,931
法人税等調整額	△12,759	△4,525
法人税等合計	196,521	94,406
四半期純利益	208,708	92,638

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計及びバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。